

# ひろばちがさき

No. 934

新政ちがさき

2011年7月29日

茅ヶ崎市茅ヶ崎1-1-1市役所内0467 (82) 1111

新政ちがさき有志  
 岸 正 明 87-8766  
 こいそ妙子 52-6731  
 和 田 清 84-9969  
 よしかわ和夫 86-0032  
 西田 淳一 83-7293

## 住民投票制度のワークショップが始まる！

昨年4月に施行された茅ヶ崎市自治基本条例に基づき、住民投票制度の調査・研究が続けられておりましたが、この度、その結果がまとめられました。さらに、制度検討を進めるために、市民アンケートの実施や高校生・大学生によるアンケートやワークショップの開催などがスタートします。

調査結果では、国内の住民投票の実施例や、すでに条例が制定されている自治体の条例概要などの他、課題や検討事項があげられています。課題としては、

- ① 個別設置型か常設型か？
- ② 投票資格者の年齢
- ③ 在日外国人の投票権
- ④ 住民による請求要件などが挙げられます。

【注】6月議会では、我が会派の有志により、市役所建替え問題に特化した住民投票条例の実施を上程しました。否決されましたが、住民自ら地方自治に参画して自ら決定していく、という大きな流れの中にあります。ぜひ、皆さんも関心を持って意見を寄せてください。

## ●(仮称)湘南看護専門学校の候補地が決まる！

看護師不足が叫ばれて久しい昨今、茅ヶ崎、藤沢、寒川で形成される湘南東部医療圏域に於いて、看護師確保の手段として、看護学校の建設が望まれています。地元医師会の強い要望を受け、2市1町でも支援を決定し、その準備が行われておりますが、この度、学校建設候補地が決定しました。交通の便などを考慮し、藤沢市大庭503-3(小糸小学校隣、ライフタウン内のジャスコの裏)です。

茅ヶ崎市としても、建設経費の償還支援などを行うとともに、実習生の受け入れや奨学金支給などで、看護師の確保を目指すものです。

【注】病院を維持するために、一番問題になるのが、看護師の確保です。民間病院もそうですが、茅ヶ崎市立病院では、慢性的な看護師不足に悩まされています。徳洲会病院の移転・縮小にあたり、茅ヶ崎市に於ける救急医療の充実を図るためにH20の設置を進めています。それは、十分な看護師が確保できて

初めて成り立ちます。資格を持つていても働いていない看護師が多い中、養成も大切ですが、労働環境など処遇改善が必要です。

## ●住宅地の最低敷地面積を定める原案決まる！

住宅地域の乱開発を防ぎ、防災や景観上も豊かな街づくりを目指すための制度です。来年春の施行を目指しています。

【注】実は藤沢市などは、別の基準ですが、かなり厳しい制限を設け、乱開発を防ぐための政策をすでに実行しています。浜竹や常磐町など、隣接している住宅が違う基準で建設可能であることなど、更なる改良が必要です。

財産権の問題もあり、反対の意見もあり、市民のコンセンサスが必要です。しかし、災害時の延焼や避難路の問題も深刻な問題です。実現が待たれます。

用途地域	容積率	建ぺい率	原案制限値
第一種低層住宅専用地域	80%	50%	125㎡
第二種低層住居専用地域	100%	50%	100㎡
	150%	60%	

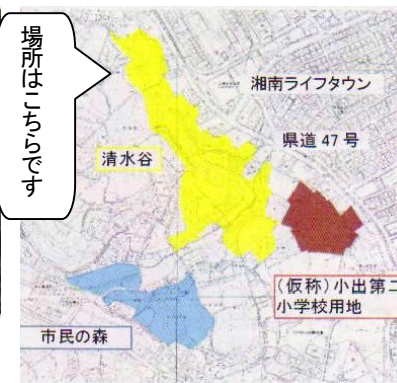
## ●清水谷が特別緑地保全地区指定に！

堤(天神原、八王子原地内)にある清水谷は、豊かな自然を残し茅ヶ崎の里山として貴重な資源です。その50%を現状保持して残すための地域指定です。来年春の指定に向け準備をしています。

【注】長年、市民から保存の希望が上がっていた地域です。地元も皆さんにも協力を仰ぎ、子孫に残していきたいものです。



清水谷



場所はこちらです

豊かな自然が残る清水谷